

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 次世代型免疫細胞サブセット解析手法の開発とその実装
2. 研究代表者： 山本 雅裕（大阪大学 微生物病研究所 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、様々なマウス疾患モデルを用いた疾患特異的免疫細胞サブセットを同定し、その役割を明らかにすることを目的としている。

フェーズ1では、理論上任意の細胞集団を2つの遺伝子座に制限をかけた上で標的化できる新規遺伝子改変（VeDTR）マウスを用い、Th1型制御性T細胞（Th1-Treg）が腫瘍に蓄積すること、Th1-Tregを除去すると腫瘍増殖が抑制されTh1型の免疫応答が増強することを見出した。Th1-Tregマウスを解析できる系を構築し、Th1-Tregとがんや実験的アレルギー脳脊髄炎（EAE）との関連などを見出しており、今後の発展が見込める。フェーズ2の研究計画では、疾患モデルの研究も拡張予定であり、ヒト疾患検体を用いた考察や新たな病態解明と治療法の開発につながる成果を期待する。

以上